

陳 情 文 書 表

令和3年9月定例会

令和3年分陳情第7号

厚生委員会

受理年月日	令和3年7月26日
件名	「新型コロナウイルスワクチン接種の即時中止を求めます」に関する陳情
陳 情 人	
富山市婦中町友坂135番地 数井 武人	
陳 情 要 旨	
<p>1 要旨</p> <p>「新型コロナウイルスワクチン」は、治験が終了しておらず、安全性が確認されていません。治験期間中のワクチンを広く県民に接種することは「人体実験」と同じです。また、新型コロナによる死亡者0名の子どもや若年層にはワクチン接種の根拠はなく、接種は全く必要ありません。安全性が確認されておらず、死亡や重篤な副反応を引き起こす「新型コロナウイルスワクチン接種」を直ちに中止することを強く求めるものです。</p> <p>2 理由</p> <p>令和3年6月9日時点での新型コロナウイルス感染症による死亡率（死亡者数の検査陽性者数に対する割合）は、30代以下0%、40代0.1%、50代0.3%、60代1.3%、70代4.8%、80代以上13.1%です。80代以上の死亡者の平均年齢は平均寿命とほぼ同じです。</p> <p>このように死亡率がごく低いにもかかわらず、国民全員に対してワクチン接種を勧める政府の方針に反対し、6月24日、新型コロナウイルスワクチンの安全性を懸念する全国の医師や議員450名が厚生労働省にワクチン接種の中止を求める連名の嘆願書を提出しました。この中で、発起人の高橋徳・米ウイスコンシン医科大学名誉教授は、厚生労働省のホームページで公表されているデータを分かりやすく説明し、「死亡率が非常に低く、感染者の80%が軽症にもかかわらず、安全性もまだ分かっていない遺伝子ワクチンを国民全員に接種させる必要があるのか疑問だ」と説明されています。新型コロナウイルスワクチン接種を受けた方の死亡や重篤な副反応は増加する一方です。インフルエンザワクチンは過去10年間（2009年10月～2020年4月）の接種で死亡者19名に対し、新型コロナウイルスワクチンはたった4か月半の接種で死亡者550名以上の異常事態です。</p> <p>また、新型コロナによる死亡者0名の子どもや若年層に対しても、ワクチン接種</p>	

(裏面へ)

を止めようとしません。死亡者がいない以上、ワクチン接種を勧める根拠は見当たりません。このような異常な政策は、あらゆる場所で同調圧力を生み出し、ワクチン接種による被害を拡大する要因となっています。

「新型コロナウイルスワクチン接種」を直ちに中止し、健全な社会を取り戻して下さい。